

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「夢 (gift) を明日へ
つなげよう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーは親睦と
奉仕の融合」



世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度

国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン

2560地区ガバナー 山本 和則

高田ロータリー会長 水上 喜芳

幹事 大島 誠

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員

田中 正人 小熊 貞良 栗田 修行

笠谷 吉春 小林 豊茂 霜村 浩

第18回例会 ■ 11月6日(金)

No.18

会長挨拶 ● 水上 喜芳



皆さんこんにちは。
先週末土日の2日間地区大会に参加して頂き大変お疲れ様でした。
また、今日例会が終了後、友好クラブである、米沢上杉 RC の要請で第2800地区の地区大会に参加してきます。

さて今月のロータリー特別月間は『ロータリー財団月間』となっています。

新しい補助金制度になり3年目になりますがDDFの仕組みや地区補助金プロジェクトについては高田クラブでも何度か補助金プロジェクトを実施していますので慣れてきたことと思っています。

しかし、グローバル補助金については過去のマッチンググラントも含め一度も利活用したことが無かったと思います。

利用面で一番の問題は、プロジェクト実施国つまり相手国の代表提唱クラブを見つけることだと思っています。

援助国提唱クラブに手を上げれば、世界の各地のクラブから、オファーが来ますが、同じロータリアンと言え、国が違いますと言葉が違うのと同様、考え方も違いプロジェクト完遂まで、かなり大変です。

したがって目的とするプロジェクトへの熱意や取組姿勢など注意して相手クラブ若しくは地区を選ばなくてはなりません。

そのため、いきなり、提唱者クラブになるのではなく賛同クラブとして、そのプロジェクトに参加すれば、お金は出さなければなりません書類を書いたりプロジェクト進行チェックなどの責任が無く、しかも資金の集め方やお金の流れプロジェクトの進行が分かり、非常に参考になります。

地区補助金利用だけでは、ロータリー財団の力

の四分の一、25%しか利用していないこととなります。

是非一度、グローバル補助金に関わってみるのもクラブ活性化のために良い事ではないかと思えます。

先月に引き続き、今月も皆さんのポケットマネーを財団寄付として協力して頂くことになり恐縮ですが、是非ご協力よろしくお願い致します。

また、確定申告に証明書を間に合わせるためには、今月中に財団に送金しないと間に合いませんので併せて、よろしくお祈りします。

出席報告

出席率 98.08%

お客様

佐藤利彦様 (青年会議所理事長)・小嶋宏志様 (青年会議所専務理事)

メイクアップ

佐藤 信君・齊藤光雄君 (10/31 地区大会)
水上喜芳君・東山昶也君・羽深耕時君・大島 誠君 (10/31・11/ 1 地区大会)

遠藤 巖君・橋本眞孝君・栗田修行君・大谷光夫君・佐藤憲二君・高橋俊宣君・羽深元悟君・橋詰敏一君・堀井靖功君・石倉 悟君・小林 元君・本山秀樹君・牧野章一君・中田 正君・田中正人君 (11/ 1 地区大会)

渡邊 隆君 (11/ 4 (水)新井 RC にて卓話——「教育」は変わったか?)

セレモニー

地区ガバナー賞

2014-15 年度会員増強個人表彰——齋藤尚明君・大谷光夫君

2014-15 年度国際大会参加部門表彰——東山昶

也君
11月のお誕生日 各お祝い

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

佐藤憲二君——本日の例会と誕生日が重なりました。お祝いもいただきありがとうございます。

高島 誠君——11月3日 寺町のサンクス高田が10周年を迎えました。今後ともよろしくお願いいたします。

高橋正彦君——11月3日の高田RCゴルフ同

好会ゴルフコンペにおいて優勝しました。

幹事報告

配布物：週報№17、2015-16年度現況報告書、ガバナー月信、吉川高等特別支援学校見学会のご案内

回覧物：第2800地区酒井ガバナーへの記念品紹介

報告：11月13日移動例会（上越医師会）について

11月のロータリーレート 120円/ドル

クラブフォーラム 地区大会報告（10月31日・11月1日）

◆水上会長

今年も、毎年度恒例の地区大会が2日間にわたり新潟市で開催されました。

場所は第1日目がホテルオークラ新潟、2日目が朱鷺メッセで総登録者数が1259名と例年に比べ大変多くのロータリアンが一堂に集う会になりました。

同じクラブ内では、年間50回を超える例会とイベントで、お互い顔を合わせますが、クラブが違うと同じ地区内でも、ほとんど懇親を深める機会はありません。

したがって、このような地区大会は年に1度、地区内ロータリアンの親睦と情報交換の貴重な機会と言えます。

RI会長代理に2015年ガバナーエレクト研修チームリーダーでもある横浜鶴見北RC所属の藤林豊明氏を迎え国際ロータリー及びロータリー財団に関する現況報告を聞き大変参考になりました。

また今年度、山本ガバナーは自身の基本方針である『夢（gift）を明日へつなげよう』とRI会長K.R.ラビンドラン氏の『世界へのプレゼントになろう』のテーマを我々ロータリアンは天から授かった自らの才能を世界と地域に役立てなければならない。そして、その考え方や行動を未来に繋げなければならないとのメッセージを力強く述べられ大変有意義な一日でした。

◆佐藤ロータリー財団委員長

国際ロータリー第2560地区大会前日の米山、財団委員長会議参加させて頂きました。会の資金の活かされた活動の報告、使える財源に見合う行動の推進等、様々の委員長からのメッセージでし

た。内容は素晴らしいのに鷹揚が無く睡魔に襲われる事もしばしばで周りを見ると私だけではないので安心もしましたが、活動への意義補助金の在り方、各委員会によるアプローチも色々と皆様強いパッションを感じました。多額の資金を提供される方もおられる傍ら中々集まらないクラブもあり、潤沢な基金での運用を目指し強力なメンバーの増強、其々のクラブの結束を強固にする事で奉仕の実績を積み重ね、交流と親睦を更に深め社会に貢献出来るクラブの実現を実感しました。用意した寄付でなくてもポケットマネーで少しずつ気持を込めて献金を宜しくお願い致します。

◆齊藤米山奨学委員長（小林副委員長代読）

1. 委員会報告（新潟RC田中委員長）

当地区の受入れ奨学生は20名で国籍別には中国が6名と一番多く、性別は男性10名女性10名の同数、大学名は長岡技術科学大学、新潟大学が各7名となっています。

2. 講演 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長 小沢一彦氏（横須賀RC）

・米山記念奨学事業は日本のロータリーが運営する日本で最大の奨学事業であり、累計で600億近い寄付を集めました。

・今年度の留学生は725人で現在に至るまでに123ヶ国14,846人の留学生を受け入れました。

・奨学支援を受けた台湾の学友会の会員がお金を出し合い、日本からの留学生を逆に受け入れている例もあります。

・これからも多くの留学生が学友会に入会して活躍していただきたい。



2014-2015年度 ガバナー賞（敬称略）	
会員増強表彰《クラブ表彰》	
会員純増数	
1位 高田RC	10名
2位 新潟東RC	9名
2位 柏崎東RC	9名

